

(様式3)

事業所名 グループホーム和田

目標達成計画

作成日: 令和 4年 12月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 19	新型コロナウイルス感染予防の観点からではあるが、ご家族との交流の場、地域の方々や近隣の施設との交流を持つ機会が減ってしまっている。	イベントや交流会にこだわらず、普段からの繋がりを大切にし、お互いに声を掛け合ったり、助けたり協力できるような関係を築く。ご利用者に限らず、グループホームの職員が、近所の方や近隣施設の職員と情報を共有したり、繋がりが持てるような関係性を維持する。	近隣施設を巻き込んだ防災訓練や合同研修の実施。 ご利用者と一緒に近所を散歩したりしながら、近所の方と顔なじみの関係を築く。 ご家族が来所された際には、職員から積極的に声を掛け、一方的ではなくご家族からの意見も聞けるように促す。	12ヶ月
2	3 13	唯一の認知症対応型の施設ではあるが、地域の方々に浸透していない。認知症実践者研修に参加している職員も多数いるので、地域に対してできることを探す。	地域の方に認知症に特化した施設であることを知って頂く。 その上で地域の方が気軽に相談できたり、窓口になれるような施設になる。	認知症サポーター養成講座や認知症行方不明者捜索訓練等に積極的に参加し、グループホームの活動を知って頂ける機会を持つ。 「認知症に対するちょっとした困りごと」などの相談相手となれるようなシステムの構築。(またこのような活動をしていきたいことを周知していく)	24ヶ月
3	35 4	移転や職員の異動があった。自然災害や感染症発生時に、ご利用者に継続してサービスを提供できるような体制づくりを改めて確認する。	グループホーム職員や、地域との協力体制を確認し、実際にシミュレーションを行う。	BCPの作成。 シミュレーションが実施できるよう、関係機関に協力を得る。 職員会議で職員全員に周知できるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月